MUJI 無印良品　保存用

ステンレスユニットシェルフ用 クロスバー

組立・取扱説明書

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みいただき、
内容を理解した上で、正しく組み立て、正しくお使いください。
また、本書はいつでも確認できるように大切に保管してください。

2023 年 12 月 27 日

製品仕様

品　名	ステンレスユニットシェルフ ステンレスクロスバー 特大	ステンレスユニットシェルフ ステンレスクロスバー 大	ステンレスユニットシェルフ ステンレスクロスバー 小
規　格	幅112cmタイプ用	幅84cmタイプ用	幅56cmタイプ用
J A N	4550583922252	4550583922269	4550583922276
製品寸法	約幅1290×奥行15 ×高さ20 mm	約幅1090×奥行15 ×高さ20 mm	約幅765×奥行15 ×高さ20 mm
用　途	ステンレスユニットシェルフ用クロスバー		
材　質	金属（ステンレス鋼）		
表面加工	電解研磨		
原 産 国	中国		

ご使用方法

移動について

●引越しなどで移動させる際などは、本体からはずしてから行ってください。

廃棄について

●廃棄の際は、居住地域の自治体のルールに従い、処分してください。

お手入れ方法

保守・点検

●破損、変形した状態では使用しないでください。

●各部にゆるみやグラつきがないか定期的に点検し、ゆるんでいたらしっかり締め直してください。ケガや製品の破損、床面へのキズ防止になります。

金属部のお手入れ

●通常のお手入れはやわらかい布で乾ぶきしてください。

●汚れがひどい時は、3～5%程度に薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤をよくふき取ってください。次に乾いたやわらかい布で軽くふいた後で自然乾燥してください。

お問い合わせ先

製品のお問い合わせは、お買い上げの販売店もしくは下記お客様相談室までご連絡ください。

株式会社　良品計画

お客様相談室でんわ
0120-14-6404

重要なお知らせ（安全上のご注意）

ここに示した警告・注意事項はお使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ずお守りください。

⃠ してはいけない「禁止」の内容です。　❗ 実行しなければならない内容です。

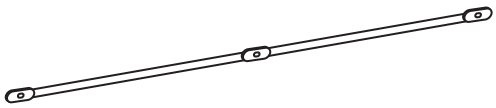
⚠警告　死亡や重傷などに結びつくおそれがあるもの	
禁止	●不要になった梱包材は、幼児の手の届くところに置かないでください。首に巻き付けるなどしたときに窒息するおそれがあります。 ●フィッティングパーツは小さな部品です。幼児の手の届くところに置かないでください。また、紛失しないでください。誤飲した場合、窒息などのおそれがあります。
行う	●棚セット（※）もしくは追加用帆立（単品）に付属の組立・取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。組み立てた製品に対し、お使いになる上での注意が記載されており、ケガを防ぎ、安全にお使いいただく為に重要です。

※ステンレスユニットシェルフシリーズ、スチールユニットシェルフシリーズの帆立、棚板、クロスバーがセットになった製品。

⚠注意　傷害を負う可能性や物的損害が生じるおそれがあるもの	
禁止	●組み立てが不完全なまま使用しないでください。ケガの原因となるおそれがあります。 ●本来の用途以外では使用しないでください。思わぬ事故やケガの原因となります。 ●修理および改造はしないでください。製品の強度が弱くなりケガをするおそれがあります。
行う	●引っ越しや部屋や階をまたぐような移動をする際は、組み立て前の状態に戻してから運んでください。パーツがはずれて、ケガや製品が破損する原因となります。 ●組み立ての際は、手袋などをつけて作業してください。思わぬケガの防止になります。

パーツリスト

Ⓐクロスバー×2



フィッティングパーツ

ⓐボルト×1（クロスバー中心用）	ⓑ袋ナット×1（クロスバー中心用）	ⓒボルト×4	ⓓ座金×4	ⓔレンチ×1

スチールユニットシェルフ・クロスバー・組み合わせ一覧表

【パーツ必要数確認表】

帆立サイズ／パーツ名	特大	大	中	小	ミニ
棚板または帆立補強パーツ	4	3	3	2	3
クロスバー	2	2	1	1	0

棚板サイズ	対応するクロスバーのサイズ
幅112cm	特大
幅84cm	大
幅56cm	小
幅42cm	小

※ユニットシェルフでは、一定の強度を保つために、組み立てに必要なパーツ数を定めています。帆立のサイズごとに必要な数、棚板のサイズによりクロスバーのサイズが異なりますので、上の表でお確かめください。

※幅112cmタイプと幅42cmタイプは帆立補強パーツのご用意がありませんので、棚板を必要数取り付けてください。

※組み立て位置によっても強度は異なります。必要数量以上でも一部に片寄っていると強度に影響する場合があります。特に上下を空けたり、広い間隔で空けると揺れの原因ともなりますので、設置の際は均等になるようにご注意ください。

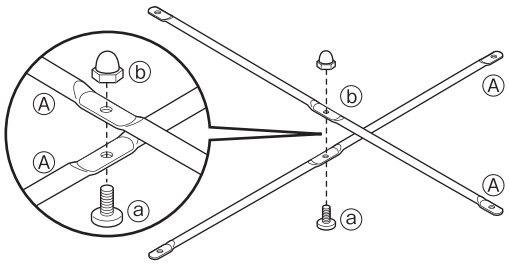
組立方法（クロスバーの取り付け方）

※この組立・取扱説明書は各サイズ共通です。

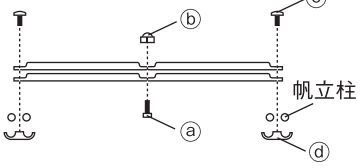
※イラストには クロスバー・大 を使用しています。

※全体の組み立て手順については、棚セットもしくは追加用帆立（単品）に付属の組立・取扱説明書をよく読み正しく組み立ててください。

1 Ⓐクロスバーの中心を重ね、ⓐを通し、ⓑで軽く締めてください。



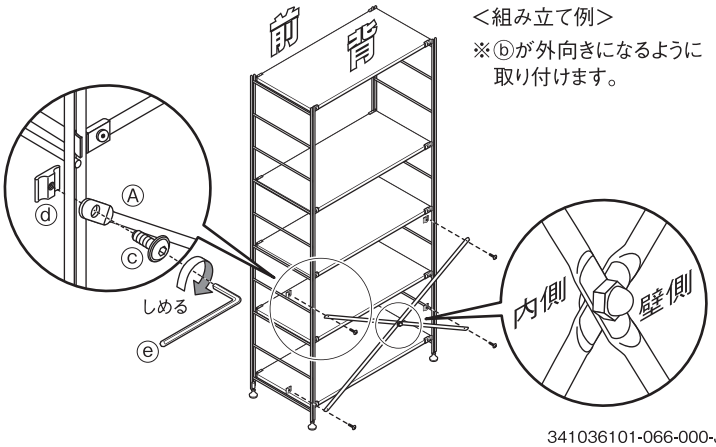
クロスバーの重ね方



※２本のクロスバーの向きを左図のように重ね、平らなほうからⓐを通し、凹んでいるほうからⓑをかぶせ、軽く締めます。

クロスバーは凹んでいる状態を合わせればどちらが上でも構いません。

2 棚板を全て取り付けてからシェルフの背面側からⓓとⓒで図のように帆立、Ⓐクロスバーを間にはさんで、ⓔを使いⒶを固定してください。クロスバー中心のⓑとⓐも、ⓔを使い、しっかり締め付けてください。



＜組み立て例＞

※ⓑが外向きになるように取り付けます。